

『宮城県の入札契約制度等に関する
アンケート調査』
結果報告書

1. 調査の概要
2. 調査結果

参考資料 調査票

平成29年1月

宮城県出納局契約課

1 調査の概要

目的

本県では、東日本大震災からの早期復旧・復興を目指し、県発注工事の入札契約手続き等に関する様々な特例措置を講じてきているところです。

「宮城県震災復興計画」においては、平成26年度からの4年間を「再生期」と定め、引き続き本県の復旧・復興を更に加速することとしており、入札契約制度においても透明性、公正性、競争性を確保しつつ、その実現に寄与していくと同時に、建設産業の将来を見据えた制度改正を図っていく必要があります。

今般、震災から7年目となる平成29年度以降の本特例措置の取り扱い、及び不調の原因を検討するにあたり、県内の建設企業の皆様のご意見を参考とするため、アンケート調査を実施したものです。

対象業種・等級

県発注工事の入札参加登録を有する県内本社の建設会社の中から、下記の業種・等級の登録業者のうち、地域ブロック毎に約1割（復旧・復興工事の発注件数が特に多い土木一式工事S等級については約2割）の107者を対象としました。

なお、複数の業種で抽出対象となった場合については、その中の1つの業種で選定しています。

（1）平成27年度アンケート調査を実施した以下の業種・等級

- ・土木一式工事 S等級 登録数の約20%（33者）
- ・土木一式工事 A等級 登録数の約10%（26者）
- ・建築一式工事 S等級 登録数の約10%（9者）
- ・建築一式工事 A等級 登録数の約10%（10者）

（2）特例措置の最低制限価格工事及び舗装工事の下請制限一部緩和の対象となる以下の業種・等級

- ・舗装工事 S等級 登録数の約10%（8者）
- ・電気工事 S等級 登録数の約10%（8者）
- ・管工事 S等級 登録数の約10%（10者）
- ・機械器具設置工事 S等級 登録数の約10%（3者）

調査内容

（1）特例措置7項目の「今後のあり方」については、「廃止」又は「継続」のいずれかを選択するが、「継続」を選択した場合は、さらに「平成29年度まで」と「復旧・復興の収束まで」のいずれかを選択し、具体的理由を記載

- ① 問6については、最低制限価格制度の適用となる業種・等級の登録業者のみ回答（調査票参考）
- ② 問7については、舗装工事の登録業者のみ回答

（2）平成27年度工事の入札参加状況については、「一般競争入札の参加を見合わせた」、「指名通知を受けたが辞退した」又は「ない」のいずれかを選択するが、「参加を見合わせた」又は「辞退した」を選択した場合は、さらにその理由を15項目から選択して、具体的理由を記載

（3）その他（現状の県の入札契約制度全般へのご意見等）

調査日程

平成28年9月28日～10月21日

調査回答率

調査内容（1）の①②を除く回答率86.9%（107者のうち93者が回答）

調査内容（1）①の回答率82.9%（対象業者70者のうち58者が回答）

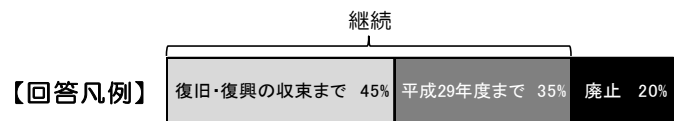
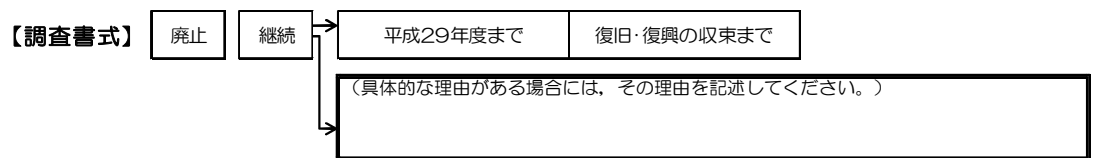
調査内容（1）②の回答率58.6%（対象業者29者のうち17者が回答）

調査内容（2）の回答率84.1%（107者のうち90者が回答）

2. 調査結果

(1) 今後のあり方（前回の調査は平成27年9月10日～10月2日に実施）

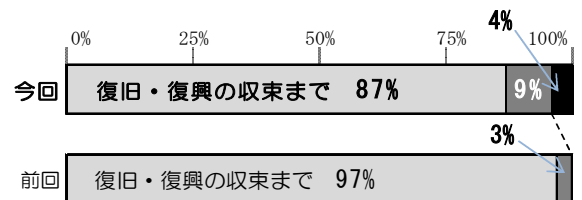
- 今回調査した特例措置7項目全てにおいて「復旧・復興の収束まで」を選択した割合は、7割以上（76%～88%）となりました。継続を希望した具体的な理由が特に多かった項目については、下記のとおりです。
- ・問1「オープンブック方式適用緩和」：入札時に予定下請業者・金額を決定できない、入札手続きの簡素化 16件
 - ・問2「履行能力確認調査の簡素化」：開札から落札決定までの迅速化、恒久化等 12件
 - ・問3「特別簡易型（実績重視型）の導入」：地元企業の受注促進、手続きの簡素化等 12件
 - ・問5「予定下請の変更をペナルティとしない」：下請企業の確保が困難、下請状況が変わる等 13件
- 「平成29年度まで」継続を選択した全体の割合は、5～10%となりました。
- 問4「東日本大震災での災害対応実績に対する加点評価」及び問7「舗装工事の下請制限の一部緩和」の廃止を選択した割合は、2桁（15%、18%）となりました。



問1. オープンブック方式適用緩和

	復興収束まで	H29まで	廃止
回答数	81	8	4
割合%	87%	9%	4%

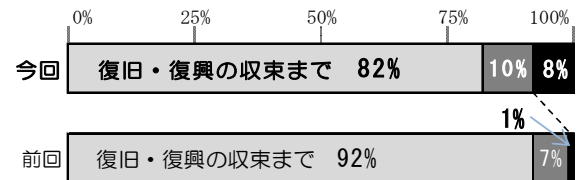
継続 96% 前回 100%



問2. 履行能力確認調査の簡素化

	復興収束まで	H29まで	廃止
回答数	77	9	7
割合%	82%	10%	8%

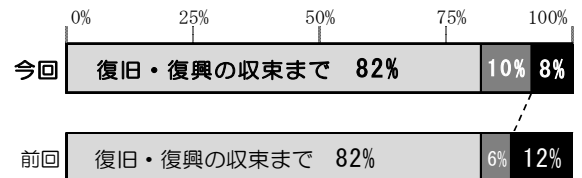
継続 92% 前回 99%



問3. 特別簡易型（実績重視型）の導入

	復興収束まで	H29まで	廃止
回答数	77	9	7
割合%	82%	10%	8%

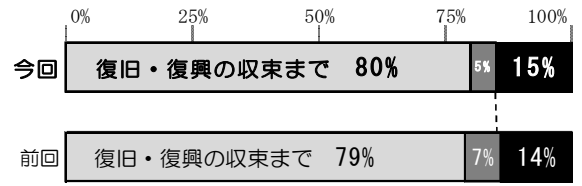
継続 92% 前回 88%



問4. 東日本大震災での災害対応加点評価

	復興収束まで	H29まで	廃止
回答数	74	5	14
割合%	80%	5%	15%

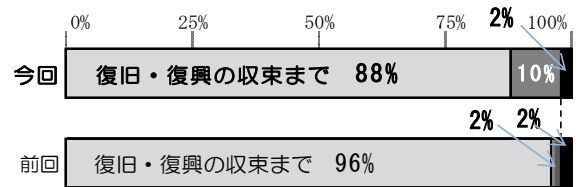
継続 85% 前回 86%



問5. 予定下請の変更をペナルティとしない

	復興収束まで	H29まで	廃止
回答数	82	9	2
割合%	88%	10%	2%

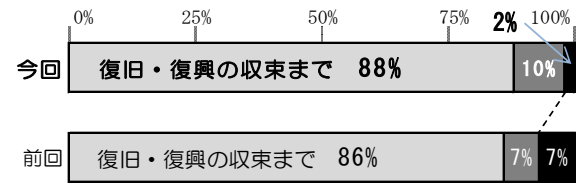
継続 98% 前回 98%



問6. 最低制限価格制度の導入 (対象業者70者のうち58者が回答 回答率82.9%)

	復興収束まで	H29まで	廃止
回答数	51	6	1
割合%	88%	10%	2%

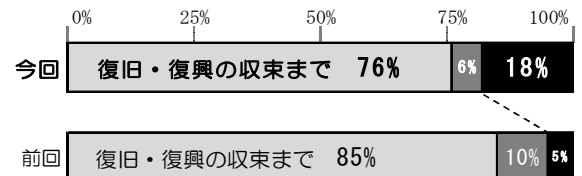
継続 98% 前回 93%



問7. 舗装工事の下請制限一部緩和 (対象業者29者のうち17者が回答 回答率58.6%)

	復興収束まで	H29まで	廃止
回答数	13	1	3
割合%	76%	6%	18%

継続 82% 前回 95%



(2) 入札参加を見合わせる理由（前回の調査は平成25年4月30日～5月24日に実施）

- 入札参加を見合わせた割合は、前回の調査時から9ポイント減となりました。
- 入札参加を見合わせた理由のうち、前回調査より割合が増加しているのは「技術者の不足」（7ポイント増）のみとなりました。「技術者の不足」の主な具体的理由については下記のとおりです。
 - ・ 配置可能な技術者がいない（手持ち工事でいっぱい等） 9件
 - ・ 技術者を増やすことが出来ない（求人しても集まらない等） 4件
 - ・ 技術者が拘束される（設計変更による工期延期等） 4件
- 入札参加を見合わせた理由のうち、「技術者の不足」としたのは84%と依然として高く、前回調査で割合が高かった「資材価格の高騰」や「生コン、砕石などの資材の調達ができない」は、大幅な減少となりました。

【調査書式】

①平成27年度に入札参加資格のある工事で、一般競争入札の入札参加を見合わせたり、指名競争入札の指名通知を受けたが辞退したことがありますか。

一般競争入札の参加を見合わせた	指名通知を受けたが辞退した	ない
-----------------	---------------	----

②上記①で「ない」以外を答えた方に伺います。
 入札参加を見合わせたり辞退した理由を下記から選んでください。（複数回答可）
 また、具体的な理由がある場合は、右欄に記入願います。

【その他】

1	△△△（具体的理由： _____）
2	その他（具体的理由： _____）

問8. 入札参加を見合わせる理由

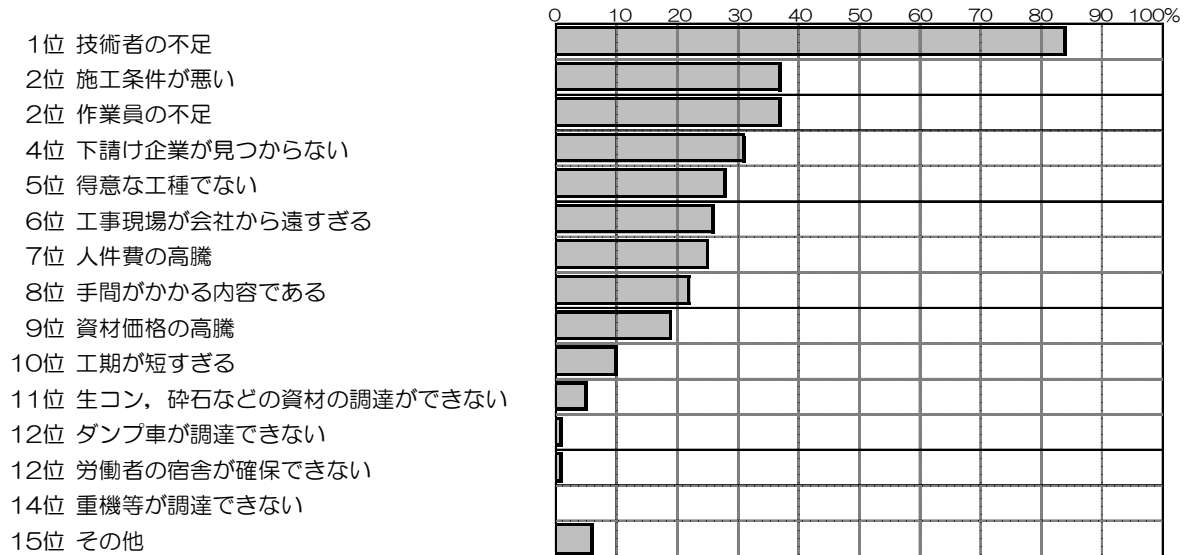
①入札参加見合わせの有無

	入札参加見合わせ数			ない
	一般競争入札参加見合わせ	指名通知を受けたが辞退		
回答数	81	58	56	9
割合%	90%	64%	62%	10%
前回回答数	90			
前回割合%	99%			

②入札参加見合わせの理由

理由	参加見合わせ数					増減
	今回		前回			
	回答数	割合	回答数	割合		
【経済性】	1 資材価格の高騰	15	19%	55	61%	-43 件外
	2 人件費の高騰	20	25%	38	42%	-18 件外
【労働力不足】	3 技術者の不足	68	84%	69	77%	+7 件外
	4 作業員の不足	30	37%	47	52%	-15 件外
	5 下請け企業が見つからない	25	31%	46	51%	-20 件外
【資機材調達】	6 生コン、砕石などの資材の調達ができない	4	5%	49	54%	-50 件外
	7 ダンプ車が調達できない	1	1%	30	33%	-32 件外
	8 重機等が調達できない	0	0%	8	9%	-9 件外
【工事内容】	9 手間がかかる内容である	18	22%	43	48%	-26 件外
	10 施工条件が悪い	30	37%	49	54%	-17 件外
	11 得意な工種でない	23	28%	-	-	-
	12 工期が短すぎる	8	10%	20	22%	-12 件外
【その他】	13 工事現場が会社から遠すぎる	21	26%	35	39%	-13 件外
	14 労働者の宿舍が確保できない	1	1%	9	10%	-9 件外
	15 その他	5	6%	12	13%	-7 件外

(割合の高い順)



(3) その他（現状の県の入札契約制度全般にご意見等があれば記載してください。）

(主な内容)

総合評価の見直し ⇒13件

- (1) 内容の見直し（公平性、項目の不要、項目の変更、項目の追加） 2件
- (2) 地元及び県内業者に有利な内容への見直し（更なる加点評価、同種工事の経験を全公共工事対象へ等） 6件
- (3) 施工計画の加点根拠が不明 1件
- (4) その他（提出資料や確認方法が異なる場合がある、技術者の施工実績が無く厳しい等） 4件

発注方法関係 ⇒8件

- (1) 地元企業の応札可能な発注（県内本社案件を増やしてほしい等） 2件
- (2) Sランク以外が応札可能な発注（工事の細分化と金額の低額等） 2件
- (3) その他（工期が長すぎる等） 4件

震災特例継続 ⇒6件

- (1) 震災特例の恒久化 4件
- (2) 対象工事の拡大（履行能力確認調査の簡素化は全工事対象へ等） 2件

オープンブック方式の見直し ⇒5件

- (1) オープンブック方式の廃止（入札時に下請けの業者選定や金額を決めるのは極めて難しい等） 3件
- (2) 下請け情報記載の廃止（現場に着手できる状況になったとき予定下請人の都合が合わない事が出ている等） 2件

入札方式の簡素化 ⇒2件

- (1) 落札決定までの期間短縮 2件

その他 ⇒15件 主なものは下記のとおり

- ・ 現場代理人、主任技術者の兼務の幅を広げて欲しい
- ・ 調査基準価格の引き上げと低入札競争にならない入札制度の改善
- ・ 技術者が施工実績が無く、参加してもきびしい状態である

アンケートへのご協力ありがとうございました。

宮城県の入札契約制度等に関するアンケート

以下に会社名・記入者氏名・連絡先を記入願います。

会社名： _____

記入者氏名： _____

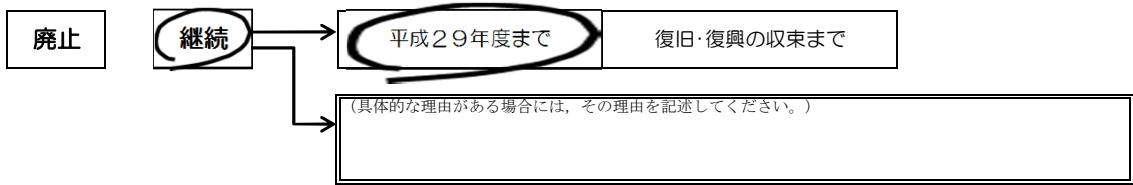
連絡先： ☎ () _____

アンケートの記載方法

質問は、全部で9問あります。最後の9問目は自由意見等となっています。

◆[問1]～[問7]は、「震災特例」の今後のあり方について、下の記入例を参考に記載してください。
[問6]～[問7]については、対象となる業種の事業者のみ記載してください。

まず、「廃止」か「継続」のいずれかを選択して○を記入します。
「継続」の場合は、右側のいずれかを選択して○を記入し、下欄にその理由を記載願います。



- 補足
- ・「廃止」とは平成29年3月末で制度を廃止することを指します。
 - ・「継続」とは平成29年4月以降も制度を継続することを指します。
 - ・「復旧・復興の収束」とは、東日本大震災に伴う復旧・復興事業が概ね完了する時期を指します。
 - ・各特例の詳しい内容が必要な場合には、契約課のホームページを参照願います。

◆入札参加を見合わせる理由について、下の記入例を参考に記載してください。

- ①では該当事項を選択して○を記入します。
- ②では該当番号を選択して○を記入します。具体的理由がある場合は、右欄にその理由を記載願います。
- ③では、入札参加資格があるが、参加を見合わせたり辞退した工事名を憶えている場合、記載願います。

① 平成27年度に入札参加資格のある工事で一般競争入札の入札参加を見合わせたり、指名競争入札の指名通知を受けたが辞退したことがありますか。

<input checked="" type="radio"/> 一般競争入札の参加を見合わせた	<input type="radio"/> 指名通知を受けたが辞退した	<input type="radio"/> ない
--	-------------------------------------	--------------------------

② 上記①で「ない」以外を答えた方に伺います。
入札参加を見合わせたり辞退した理由を下記から選んでください。(複数回答可)
また、具体的な理由がある場合は、右欄に記入願います。

【その他】

<input checked="" type="radio"/> 1	△△△ (具体的理由：))
<input type="radio"/> 2	□□□ (具体的理由：))
<input type="radio"/> 3	その他 (具体的理由：))

③ 入札参加を見合わせたり辞退した工事名を憶えている場合は下記に記載願います。

工事名	1	△△△工事
	2	□□□工事

◆[問9]は、現状の県の入札契約制度全般についてご意見があれば記載してください。

宮城県の入札契約制度等に関するアンケート

[問1] 施工体制事前提出（オープンブック）方式の適用緩和

概要：入札時にオープンブックの下請予定業者名及び予定下請工事費内訳については記載を緩和し、工事費内訳のみの記載としたもの。

現在の適用範囲：全工事

特例適用の目的：入札手続きの簡素化や入札参加拡大を図るため。

質問：今後の在り方

廃止	継続	平成29年度まで	復旧・復興の収束まで
(具体的な理由がある場合には、その理由を記述してください。)			

[問2] 履行能力確認調査の簡素化

概要：調査対象者が数値的判断基準による調査で落札不適當に該当しない場合は、誓約書を求めることにより、原則として履行能力確認調査を省略することとしたもの。

現在の適用範囲：東日本大震災に伴う復旧・復興工事

特例適用の目的：早期復興のため、開札から落札決定までの迅速化を図るため。

質問：今後の在り方

廃止	継続	平成29年度まで	復旧・復興の収束まで
(具体的な理由がある場合には、その理由を記述してください。)			

[問3] 総合評価落札方式に特別簡易型（実績重視型）を導入

概要：価格以外の評価項目に「被災者雇用実績」や「施工地に本社本店を有する企業」を追加し、被災者の生活再建と地元企業の受注機会の確保を図ったもの。

現在の適用範囲：設計価格(税込)が250万円以上5億円未満の東日本大震災に伴う復旧・復興工事で技術的難易度がそれほど高くない工事

特例適用の目的：手続きの簡素化や迅速化、被災者等の雇用の促進、地元企業の受注促進を図るため。

質問：今後の在り方

廃止	継続	平成29年度まで	復旧・復興の収束まで
(具体的な理由がある場合には、その理由を記述してください。)			

[問4] 東日本大震災での災害対応実績に対する加点評価

概要：東日本大震災直後におけるガレキの啓開や応急工事などの実績がある県内企業に対して、その貢献を適切に評価し、「震災貢献」としてすべての総合評価落札方式で加点評価するもの。

現在の適用範囲：総合評価落札方式を適用する全工事

特例適用の目的：地元企業の受注促進を図るため。

質問：今後の在り方

廃止	継続	平成29年度まで	復旧・復興の収束まで
(具体的な理由がある場合には、その理由を記述してください。)			

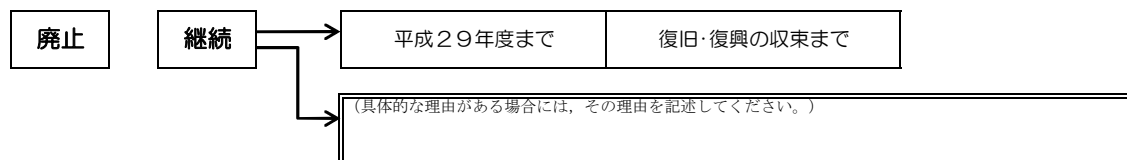
[問5] 予定下請企業・下請金額の変更をペナルティとしない特例

概要：下請承認時に自己申告より下回る場合で、東日本大震災に伴うやむを得ない状況となる理由による変更は、工事成績の減点対象としないもの。

現在の適用範囲：全工事

特例適用の目的：震災に伴う下請企業の確保困難及び資機材等の調達困難対策。

質問：今後の在り方



○ [問6]については、下記の業種・等級の事業者のみ記載願います。

- ・土木一式工事 A等級とB等級とC等級
- ・建築一式工事 A等級とB等級とC等級
- ・電気工事 全等級
- ・機械器具設置工事 全等級
- ・管工事 全等級

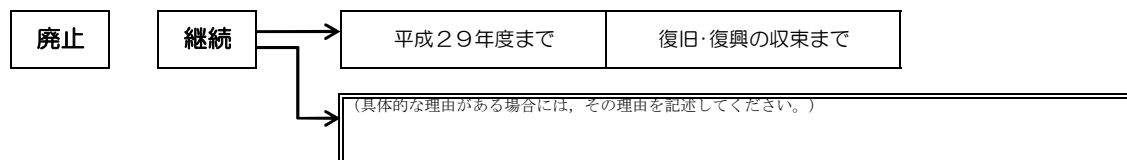
[問6] 最低制限価格制度の導入

概要：予定価格1億円未満の一部業種工事に限り、最低価格落札方式（最低制限価格）を適用し、最低制限価格を下回った入札は失格とするもの。

現在の適用範囲：予定価格(税込)1億円未満の土木一式工事、建築一式工事、災害公営住宅に係る電気工事、機械器具設置工事、管工事

特例適用の目的：手続きの簡素化や迅速化、低価格受注の防止を図るため。

質問：今後の在り方



○ [問7]については、ほ装工事の事業者のみ記載願います。

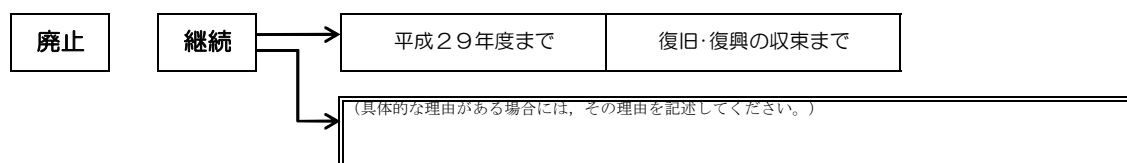
[問7] 舗装工事の下請制限の一部緩和

概要：アスファルト舗装工事（表層，基層，上層路盤）に要する経費が直接工事費の5割以上を占める工事において、請負額の5割まで下請負を認めるもの。

現在の適用範囲：東日本大震災に伴う復旧復興工事（ほ装工事）

特例適用の目的：元請けの技能者不足対策。

質問：今後の在り方



[問8] 入札参加を見合わせる理由

- ① 平成27年度に入札参加資格のある工事で一般競争入札の入札参加を見合わせたり、指名競争入札の指名通知を受けたが辞退したことがありますか。

一般競争入札の参加を見合わせた	指名通知を受けたが辞退した	ない
-----------------	---------------	----

- ② 上記①で「ない」以外を答えた方に伺います。
入札参加を見合わせたり辞退した理由を下記から選んでください。（複数回答可）
また、具体的な理由がある場合は、右欄に記入願います。

【経済性】

- 1 資材価格の高騰（具体的理由： _____）
- 2 人件費の高騰（具体的理由： _____）

【労働力不足】

- 3 技術者の不足（具体的理由： _____）
- 4 作業員の不足（具体的理由： _____）
- 5 下請け企業が見つからない（具体的理由： _____）

【資機材調達】

- 6 生コン、砕石などの資材が調達できない（具体的理由： _____）
- 7 ダンプ車が調達できない（具体的理由： _____）
- 8 重機等が調達できない（具体的理由： _____）

【工事内容】

- 9 手間がかかる内容である（具体的理由： _____）
- 10 施工条件が悪い（具体的理由： _____）
- 11 得意な工種でない（具体的理由： _____）
- 12 工期が短すぎる（具体的理由： _____）

【その他】

- 13 工事現場が会社から遠すぎる（具体的理由： _____）
- 14 労働者の宿舎が確保できない（具体的理由： _____）
- 15 その他（具体的理由： _____）

- ③ 入札参加を見合わせたり辞退した工事名を憶えている場合は下記に記載願います。

工事名	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

[問9] その他（自由意見等）

現状の県の入札契約制度全般にご意見等があれば記載してください。

※記載欄が不足する場合等は、別葉（任意様式）での回答でも構いません。

(内容を記述してください。)

ご協力ありがとうございました。